

2018/3/9 三田市地域公共交通活性化協議会資料

三田市地域公共交通網形成計画策定調査業務
～ 暮らしの交通まちづくりワークショップまとめ ～

平成 30 年 3 月 2 日時点

1. 開催概要

【 第1回 】

内 容 : 地区の公共交通での移動の問題点について意見交換
開催日時 : 平成 29 年 10 月 7 日 (土) 14 時 45 分～16 時 30 分
開催場所 : 三田市商工会館 多目的ホール
参加者 : 市民 69 名 (交通事業者、協議会委員含む)

【 第2回 】

内 容 : 第1回で意見交換した地区の交通の課題・問題点を確認した上で、地区の公共交通をより使いやすくするにはどうすればよいかについて意見交換

開催日時・開催場所

[三田地区・三輪地区]

開催日時 : 平成 29 年 11 月 11 日 (土) 10 時～11 時 30 分
開催場所 : まちづくり協働センター 講座室
参加者 : 三田 市民 5 名 三輪 市民 4 名

[高平地区・小野地区]

開催日時 : 平成 29 年 11 月 11 日 (土) 14 時～15 時 30 分
開催場所 : 有馬富士共生センター 大会議室
参加者 : 高平 市民 7 名 小野 市民 8 名

[広野地区・本庄地区・藍地区]

開催日時 : 平成 29 年 11 月 12 日 (日) 10 時～11 時 30 分
開催場所 : 広野市民センター 大会議室
参加者 : 広野 市民 5 名 本庄 市民 4 名 (市議会議員含む) 藍 市民 6 名

[フラワータウン地区・ウッディタウン地区・カルチャータウン地区]

開催日時 : 平成 29 年 11 月 12 日 (日) 14 時～15 時 30 分
開催場所 : ウッディタウン市民センター 視聴覚室
参加者 : フラワー 市民 7 名 ウッディ 市民 4 名 カルチャー 市民 5 名

[合計]

参加者 : 市民 55 名

2. 主な意見

地 区	意見交換による公共交通の課題・問題点（第1回）	地区の公共交通をよりつかいやすくするために（第2回）
三田	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 天神、西山地区のバスの運行本数が少ない。 <input type="checkbox"/> 三宮へのバスが減便され不便になった。 <input type="checkbox"/> 坂道が多く、駅やバス停まで歩くのが大変。 <input type="checkbox"/> 鉄道・バスの運賃が高い。 <input type="checkbox"/> タクシーの利用距離が短いため気を遣う。 <input type="checkbox"/> 三田本町駅がバリアフリーになっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 15分、30分間隔でのバスの運行。しかし、バスの時間に合わせた生活も必要。 ▶ 目的地に行きやすいバス停。 <ul style="list-style-type: none"> ・バス停の近さ。 ・終点(行き先)だけでなく、途中のバス停も分かりやすくする。 ▶ 市内定額バスの運行。 ▶ タクシーの運賃助成。 ▶ 鉄道とバスの住み分けが必要。
三輪	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 北部と南部では移動の便利さが全く違う。 <input type="checkbox"/> バス停まで遠く、友が丘からは坂で歩くのが大変。 <input type="checkbox"/> 香下地区のバスの運行本数が少ない。 <input type="checkbox"/> 鉄道・バスの運賃が高い。 <input type="checkbox"/> JR三田駅周辺の駐車場代が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 拠点での小型バスと大型バスの乗り継ぎ。 <ul style="list-style-type: none"> ・小型バス：バス停以外でも乗降可能・均一料金。 ▶ バス停や、駅と公共交通を結ぶレンタル電動自転車。 ▶ バスサービスのPR強化。 <ul style="list-style-type: none"> ・新しい取り組み開始時、バスの乗り方教室、お得なバスの利用方法 等。
高平	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 特に夕方から夜間のバスの運行本数が少ない。 <input type="checkbox"/> 三田駅までのバス運賃が高い。 <input type="checkbox"/> 北部にバス停まで遠い地区が多い。 <input type="checkbox"/> 三田駅行きバスの鉄道との乗り継ぎ時間が悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 神姫バスとの乗り継ぎ拠点までの地域による小型バスの運行。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の奥まで小回りのきく運行。 ・ブロックに分けた乗り継ぎ（距離が長く時間がかかるため）。 ・高齢者にも利用しやすい運行システム。 ・好意に頼らない地域での自主運営。 ▶ 役割分担が必要。 <ul style="list-style-type: none"> ・採算がとれるところ→事業者 ・採算がとれないところ→行政 ・行政でもできないところ→地域

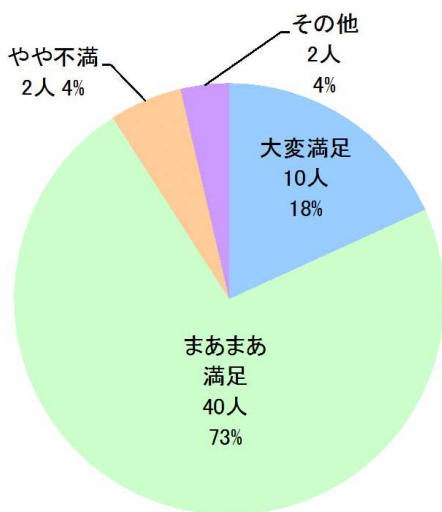
地 区	意見交換による公共交通の課題・問題点（第1回）	地区の公共交通をよりつかいやすくするために（第2回）
小野	<ul style="list-style-type: none"> □ 下校時間や学校行事にあったバスのダイヤになっていない。 □ 市内でバスを乗り継ぐ場合でも料金が高い。 □ 広野駅、新三田駅行きのバス、小野地区から小栴地区へのバスがない。 □ 通学時にバスが混雑している。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 志手原にバスロータリー整備。 ▶ 地域への小型の巡回バスの導入。 ▶ バス停までの地域の助け合い。 ▶ 利用促進に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・年代別乗り継ぎ割引、バスに乗るしかけづくり 等。 ▶ 移動しなくてもよい地域づくり（移動販売等）。
広野	<ul style="list-style-type: none"> □ 北部のバスの運行本数が少ない。 □ 市民センターへ行くバス路線がない。 □ 広野駅がバリアフリーになっていない。 □ 広野駅でタクシーが待っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 広野市民センターを神姫バスとの乗り継ぎ拠点として整備。 <ul style="list-style-type: none"> ・移動販売等の開催による広野の地域中心としての機能強化。 ▶ 地域と行政が連携した拠点から北部を運行する移動手段。 <ul style="list-style-type: none"> ・市は車両、地域は運転手とサポーターを提供。 ・好きな時間、好きな場所で乗降可能。 ・考えながら運行し、よりよいものに。
本庄	<ul style="list-style-type: none"> □ 相野駅までのバスがない。 □ 登下校時にしかバスがなく利用しにくい。 □ 三田駅周辺や病院までのタクシー料金が高く、タクシーを利用しづらい。 □ 移送ボランティア活動の今度の担い手等、検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新三田方面へのバスルートの確保。 ▶ 必要な時間に応じたデマンドバスの運行。 ▶ 多目的のバスへの同乗（買い物バスの運行等）。 ▶ 高齢者が公共交通の情報を共有できるツールの充実。 ▶ 移送ボランティア活動の次世代へ情報引継ぎ。
藍	<ul style="list-style-type: none"> □ テクノパークへのバスがなく、通勤手段としてバスが利用できない。 □ 三田駅までのバスのダイヤや便数がJRと連絡していない。 □ 新三田駅以北のJRは便数が少なく、終電も早い。 □ 三田周辺や病院までのタクシー料金が高く、タクシーを利用しづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 移送ボランティア活動の持続に向けたしくみづくり。 <ul style="list-style-type: none"> ・潜在需要はまだまだある。 ・組織づくり・人材育成が大事。 ▶ タクシー運賃を安くするための工夫。 <ul style="list-style-type: none"> ・乗合タクシー、店舗からの送迎 等。

地 区	意見交換による公共交通の課題・問題点（第1回）	地区の公共交通をよりつかいやすくするために（第2回）
フラワー	<ul style="list-style-type: none"> □ 市民病院や三田駅周辺へのバスの運行本数が少ない。 □ バスや鉄道・タクシーの運賃が高い。 □ 三田駅行きのバスや三田駅からのバスが電車のダイヤとあっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 割引制度のPR等、情報の共有や、事業者との連携が必要。 ➤ 時間帯や利用に応じた車両やルート等の運行の変更。 ➤ 公共施設・病院への乗継割引。 ➤ ゴルフ場送迎バス等の活用。 ➤ バス優先レーン、バス停周辺のバリアフリー等、バスの利便性向上に向けた道路整備。
ウッディ	<ul style="list-style-type: none"> □ 通学時のバスの運行本数が少ない。 □ 駅へ行くバスはあるが、買い物等のために市街地へ行くバスがない。 □ バスや鉄道の運賃が高い。 □ 低床バスでないと利用しづらい。 □ バスのルートが複雑で時刻表も多く分かりづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 交通事業者、地域の役割分担。 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道：都市間、神姫バス：駅へ、タクシー：家からバス停、地域：地域・街区内。 ➤ 時間帯によるバスのルート変更。 <ul style="list-style-type: none"> ・朝夕（学生）：駅、昼間：駅以外 ➤ 学校以外も行きやすい定期の多様化。 ➤ 自転車を乗せられる電車やバスの運行。
カルチャー	<ul style="list-style-type: none"> □ 関学直行便のバスが最寄りバス停に止まらないため、住民は利用しづらい。 □ 雨天時に学生等のバス利用者が多く、乗れない時がある □ 鉄道駅から距離があるため、タクシー料金が安い。 □ 朝、テクノパークへの道路が渋滞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ バスルートの再編。 <ul style="list-style-type: none"> ・ウッディタウンをハブとしたバス網の整備 等。 ➤ 高齢者のニーズにあったバスの運行。 <ul style="list-style-type: none"> ・関学だけでなく、地域の高齢者にも配慮。 ➤ 利用しやすいバス料金の設定。 ➤ 地域全体で支えあう仕組みづくり。 ➤ 関学バスを自動運転で三田をPR。

3. 参加者アンケート（一部抜粋）

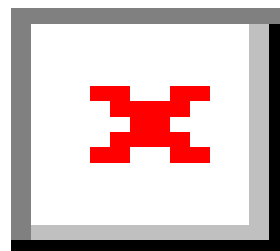
【 全体的な満足度 】

[第1回]



合計：55人 無回答8人除く

[第2回]



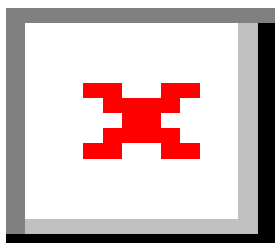
合計42人 無回答1人除く

< 第2回理由（抜粋） >

- | | |
|--------|---|
| 大変満足 | <ul style="list-style-type: none">・その地域に実際住んでいる人の意見が聞けてよかった。我々の世代（60歳）の間近に迫った未来における交通手段を真剣に考えられたことがよかったので。 |
| まあまあ満足 | <ul style="list-style-type: none">・自分では気付かない課題が明確になりよかった。とても具体的な案があり一歩ずつ解決できたらと思う。・近い将来に必要な交通手段について意見を出し合え、実現に向け共に進めて頂けそうだから・自分の地域の各年齢層や他の地域の考え方を聞けてよかった。 |

【 ワークショップ参加後の地域の交通への意気込み（第2回）】

< 具体的な取り組み内容（抜粋） >



- ・バス停までのサポートクラブについて今後考えていきたいと思います。（小野）
- ・近未来の自分たちの交通手段をどのようにしていくかについて積極的に考えていきたいと思った。（高平）
- ・バスを少しでも使い地域を通じて交通機関を発展させていく。（ウッディタウン）

合計：40人 無回答3人除く

【第2回自由意見（抜粋）】

- 自分は便利だと思っけていても不便な点が多くみつかつた。交通機関をより多くの人が利用できるように改善できる日がくることを祈つています。（三田）
- 良かつた。市と住民の協働が大事。バス会社には路線を絞つて使い勝手をよくしてほしい。問題点は共通。住民と協働で公共交通機関の空白地をフォローするしかない。そのためには専用自動車と電話などをとりまとめるコールセンター的な事務の充実。市と住民で行動することが最短。（広野）
- あまり行政に頼らない、地域内で解決する方法もあります。小さな集落での話しでは可能性が有ります。具体的なことはこれから少しは有ります。（小野）
- 高平地区にもつと多くの人の移住を考へているので、このような交通機関を切り口にして高平に一つ何か施設（例：老人ホーム、ホスピス病院）を建設して交通機関を利用する人を増やしたり、雇用も増やすことを考へている。交通網も充実して安心して暮らせる地域、雇用も生み出していける地域は移住する人に大いにアピールできると夢見ています。そのために大いに協力していきたいと思つています。地域にもつと多くの人を呼び込んで（観光のポイントをアピールする）交通機関を活用してもらつても考へていきたいです。（高平）
- 規模が小さかつたのと地域が近いので話し合われた内容、発表の内容もわかりやすかつた。これから予定されているとは思つうが連合区長会に依頼して各地区ごとに協議していけるような動きをお願いします。（本庄）
- 良く話せてよかつた。またこういう機会があれば参加したいと思つた。身近な交通について考へるいい機会になつた。よい機会をありがとうございました。（ウッディタウン）

4. ワークショップの様子（第2回）

